



放射線のリスクを科学的に考える

放射線を怖がりすぎたい、怖がらなさ過ぎたい、しないために

2012年 5/26 (土) 10:00 - 17:15

慶應義塾大学 芝共立キャンパス

参加無料

開式の辞

葛西 宏 (日本環境変異原学会 会長)

10:00 - 10:05

■座長 葛西 宏 (学会長/産業医科大学)

イントロダクション

我々は既に被曝していた(放射線リスクに関するHPの紹介)

鈴木 孝昌 (国立医薬品食品衛生研究所)

10:05 - 10:30

特別講演

食品安全委員会で生漣100ミリシーベルトを設定した経緯

山添 康 (食品安全委員会、東北大学)

10:30 - 11:20

一般講演

■座長 藤川 和男 (近畿大学)

1. 広島、長崎の原爆被害から学ぶもの

中村 典 (放射線影響研究所)

11:20 - 12:00

昼食休憩

12:00 - 13:10

2. 福島放射線衛生調査結果の報告 チェルノブイリ原子炉事故との比較

高田 純 (札幌医科大学)

13:10 - 13:50

3. 警戒区域への一時帰省者に対する放射能モニタリングおよび一部汚染地域の実態調査

須藤 鎮世 (就実大学)

13:50 - 14:20

■座長 降旗千恵 (青山学院大学/国立医薬品食品衛生研究所)

4. 化学物質のリスク評価の観点から見た放射線のリスク

森田 健 (国立医薬品食品衛生研究所)

14:20 - 14:50

休憩

14:50 - 15:00

5. マウスでの実験結果から低線量率放射線の健康リスクを考える

嶋 昭紘 ((財)環境科学技術研究所)

15:00 - 15:40

6. ヒトでの疫学的データより低線量放射線の健康リスクを考える

秋葉 澄伯 (鹿児島大学)

15:40 - 16:20

総合討論

■座長 鈴木孝昌 (国立医薬品食品衛生研究所)

川西優喜 (大阪府立大学)

16:30 - 17:15

(協賛)

日本放射線影響学会、日本薬学会、慶應義塾大学薬学部

福島原発事故を受け、放射線のリスクを正しく理解するため、このHPを開設しました。



<http://www.j-ems.org/ray/>